

会議結果報告書

1. 会議名 令和2年度第2回印西市環境推進市民会議
2. 日時 令和2年7月17日（金）9：30～11：30
3. 場所 農業委員会会議室
4. 出席委員：岩井会長、白川委員、小山委員、平林委員、福井委員
欠席委員：橋本委員
事務局：黒田、清田（環境保全課）
5. 傍聴者 0名
6. 配布資料
 - ・会議次第
 - ・市民・事業者アンケート調査票（案）
 - ・印西市環境基本計画（案）作成に対する提案（意見）〈案〉
 - ・ゼロカーボンシティについて
 - ・千葉県環境基本計画概要図

7. 内容

（1）開会

（2）会長挨拶

ゼロカーボンシティについて

昨年12月に環境大臣から発せられた内容をもとに、印西市も「2050年ゼロカーボンシティ」を表明し、30年後の温室効果ガス排出ゼロを目指すことを市民会議として提案したい。

委員：表明するだけなら簡単だが、実現するためには裏付けする条例等が必要なのでは。

会長：市全体のCO2排出量については、市では把握しているのか。

事務局：市で把握しているのは、市役所庁内のCO2排出量のみである。

会長：電力使用量等について、電力会社から情報を得ることはできないのか。

事務局：電力自由化となって以降は、電力会社からの情報収集は難しくなっている。

会長：温暖化がさらに進むと台風の発生が増加するということも言われており、CO2排出量をゼロにすることが喫緊の課題になると思われる。今後「ゼロカーボンシティ」を表明する自治体が増えることも予想されるため、印西市も遅れをとらないよう表明していただきたいと考える。

（3）議題

①手賀沼流域協働調査の報告

事務局：6月24、25日に手賀沼流域協働調査を実施し、湧水4地点、河川6地点の水質や生物の生息状況等を調査した。水質については特に問題は見られなかった。ただし、湧水については、一部採水できない地点があったため、他に湧水ポイン

トがあればご教授願いたい。

—質疑なし—

②環境意識調査（最終案）について

前回の市民会議後に委員から挙げられた意見をもとに修正した箇所を事務局から説明。

委員：P.6の項目10について、化学物質に「有害な」という文言を加えた方が良のでは。それ以外は問題ないと思われる。

③市民会議での検討事項について

委員：これまで議論してきた環境基本計画をめぐる検討事項について、市長への説明機会を設けたいと考えている。それまでに、意見を固める必要がある。

会長：「新型コロナウイルス」に関する項目があるが、環境との関係性が不透明である。

委員：温暖化により永久凍土が溶け出ることなどが影響しているという話もあるが、実際のところははっきり解明されていないのが現状である。

委員：P.2「希少生物」の具体例をもう少しわかりやすくできないか。

委員：キツネ、メダカ、ヘイケボタル等ではどうか。沈水植物についてはわかりやすい具体例を挙げるのは難しい。

会長：海洋プラスチック問題について、レジ袋がプラスチックゴミに占める割合は全体の数パーセントであり、レジ袋だけを改善しても大きな変化につながらないため、全体を見て今後どう減量するかが重要である。

委員：70歳以上のコミュニティバス無償化が始まったが、そのような取り組みがあると「使いたい」という意識が働くため、公共交通機関利用の拡充につながるのではないか。

会長：P.2「ふれあいバスの拡充」の文言について修正を加えるか。

委員：運行地域・路線の拡大や運行本数の増便など複数の意味を含んでいるため、このままでいいのでは。

委員：P.1「事業者との連携強化」については、資金提供という意味だけであれば入れる必要があるか。

委員：事業者については、事業所の敷地づくりをよく考えてほしい。農薬をまかないなど敷地内の生態系保全を考慮した敷地づくりにしてほしいと思う。これは名古屋の工業地域などでも実践されていることである。

委員：P.3「人づくり」について、具体的に記載する内容はあるか。

委員：ボランティア活動が常時あるような市民参加の取り組みや、小中学校での授業時間の確保などが挙げられるのではないか。

委員：P.3「その他の課題」にある用語説明の内容検討については、「ゼロカーボンシテ

ィ」、「マイクロプラスチック」、「食品ロス」などの用語説明を追加した方が良いのでは。

委員：P.3「災害に強い街づくり」の項目の具体例はどのようなことが挙げられるか。

委員：森林を適正に管理することや、都市計画の段階で建築する場所をよく考えること等が挙げられる。

以上

令和2年度第2回印西市環境推進市民会議の議事録は、事実と相違ないことを承認する。

令和2年9月18日

委員 白川 卓生

委員 小山 尚子